

中岳



Top contents

令和元年度一般社団法人熊本市歯科医師会 定時総会	2
令和元年度一般社団法人熊本市歯科医師会 審議委員会	6
新執行部紹介	9
歯の祭典	22
第43回熊本市歯科医師会親睦大会（ビアパーティー）	26



CONTENTS

巻頭言	宮本 格尚会長	1
令和元年度一般社団法人熊本市歯科医師会 定時総会		2
令和元年度一般社団法人熊本市歯科医師会 審議委員会		6
新執行部紹介		9
平成31年歯科救急医療協議会		
伊東歯科口腔病院との開放型連絡協議会		15
医歯連携セミナー		18
スタッフレベルアップセミナー		20
歯の祭典		22
歯磨き巡回指導		24
第43回熊本市歯科医師会親睦大会（ビアパーティー）		26
新入会員オリエンテーション		28
合同委員会		30
子育てすくすくこども博		32
スタディー		33
委員会紹介（厚生委員会・学術委員会・医療相談委員会・医療管理委員会）		36
新入会員紹介		47
スポーツの広場		50
会務報告		51
編集後記		

表紙のことば

子供を釣りに連れて行った帰りに、あまりにも天草の海と空が綺麗だったので、思わず写真を撮ってしまいました。（S.I）

巻 頭 言

新体制になり、 先を見据えた事業に取り組む



宮本 格尚 会長

6月27日(木)の定時総会におきまして理事としてのご承認をいただき、その場で行われました第1回臨時理事会におきまして会長に推挙いただきました。これから2年間、どうぞよろしくお願いいたします。今回で会長4期目となります。「長すぎる」と言うご批判の声がある事も重々承知しております。その声を収めていただけるように、令和最初の会長として、今まで以上に会員の為にしっかりと仕事をこなしていきたいと思っております。熊本県歯科医師会では会長以下、大幅な人事の交代があり、リフレッシュしてスタートされました。本会においては、委員会メンバーの交代はありますが、執行部では理事1名のみの交代となりました。メンバーが変わらないという事は、仕事は非常にやりやすいのですが、ややもすると緊張感を欠き、マンネリ化に陥る可能性があります。新執行部一同、気持ちを新たに目の前の仕事や新たな課題に取り組んで行きたいと思っておりますので、何かありましたら、忌憚のない意見をどんどんお寄せください。

今後取り組んで行く大きな課題の一つが終身会員の問題です。既に日本歯科医師会は年齢の引き上げで対応されることが決まっています。また、県歯は、収入割の割合を上げる事で会費収入を安定させ、終身会員はそのままにする方向で検討されています。本会は、会費は均等割のみですので収入割は存在しません。その中でどう対応して行くのか、現在検討中です。先日の審議委員会でも良いアイデアをいただきました。是非、会員の皆様の幅広いご意見をお寄せいただければと思っております。本会会員数が6月末で430名になりました。そのおかげで、現在会費収入には少し余裕があります。しかし、会員の年齢構成を見てみると60歳代が一番多く、次が50歳代で、この二つを合わせると会員の半数を越えます。このことから、今後、急速に終身会員が増え、第1種会員が減る事は避けられない状況ですので、先を見据えた会の運営を考えて行きたいと思います。

また、今年の10月から40歳、60歳を対象とした成人歯科健診事業が始まります。これは熊本市からの委託事業として行っていくもので、既に行われている妊婦歯科健診のようなものです。事業の立ち上げから、本会が関わって煮詰めて来たものですので、ぜひ受診率を上げて行きたいと思っております。詳しい内容は説明会を行って周知徹底したいと思っておりますので、是非ご協力をよろしくお願いいたします。

今年の政府の骨太の方針にも歯科の文言が入りました。これで3年連続であり、その内容は益々充実して来ています。また、医科歯科連携の方もさらに広がりを増してきています。熊本市内全小学校でフッ化物洗口を行う事になりました。今年度中には歯と口腔に関する条例も制定される予定です。これらを見て、歯科に追い風が吹いています。これに乗り遅れないように、我々執行部も様々な情報を随時ご提供して行きたいと思っておりますので必ずお目通し下さい。

これから2年間、さらなるご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。

新執行部決定

令和元年度 一般社団法人熊本市歯科医師会 定時総会



温先生お疲れ様でした

6月27日(木)19時30分より、県歯会館3階市会議室にて、令和元年度一般社団法人熊本市歯科医師会定時総会が開催された。

1. 開会 渡辺 洋常務理事

2. 議長及び副議長選出

議長 片山晃紀先生

副議長 斉藤忠継先生

3. 議事録署名人選出

瀬井知己先生

林 昭宏先生

4. 物故会員に対する黙祷

平成31年2月23日御逝去

上田隆一先生(中央区第2)

5. 会長挨拶 宮本格尚会長

【要旨】

皆さんこんばんは。本日は定時総会にお集まり頂き、ありがとうございます。我々執行部、今日が最後の仕事という事になります。この2

年間大変お世話になりました。お陰様で、恙無く業務を執行できたと思っております。後ほど新しい執行部を選ぶ選挙もありますから、それも含めましてよろしくお願いします。

本日の議事は、会計が中心となっております。4月末で会員数が428名、本日までの実数は430名となっております。そのお陰で、多少会計的には潤っている感じでは有りますが、県歯、日歯もやっている終身会員の問題もありますので、今後先を見通して検討していかなければならないと思っております。



2年間大変お世話になりました

またもう一つ、この10月から熊本市では節目検診として、40歳・60歳の歯周病検診が始まります。先ほどまで行政と内容について検討してきました。我々歯科医師会が主導して行う行事

になりますから、これを盛り上げて歯科の底上げをやっていききたいと思います。ご協力よろしくをお願いします。

それでは本日も最後までよろしくお願いします。

6. 報告

- 1-1) 会務報告 高松尚史専務理事
- 1-2) 庶務報告 渡辺 洋常務理事
- 1-3) 会計現況報告 小野秀樹常務理事
- 1-4) 監査報告 蔵田幸一監事
- 2) 審議会報告 秋山 清先生

7. 議事

第1号議案 平成30年度熊本市歯科医師会一般会計収入支出決算の承認を求むる件

第2号議案 平成30年度熊本市歯科医師会収益事業会計収入支出決算の承認を求むる件

第3号議案 平成30年度熊本市歯科医師会意金制度会計収入支出決算の承認を求むる件

監査報告

第4号議案 令和元年度熊本市歯科医師会一般会計補正予算案の承認を求むる件

第5号議案 令和元年度熊本市歯科医師会収益事業会計補正予算案の承認を求むる件

第6号議案 市歯審議員、特別委員会委員及び顧問、国保組合会議員の選任に関する件

第7号議案 一般社団法人熊本市歯科医師会役員選挙

(寺本豊徳選挙委員会委員長)

理事選挙につきましては、5月15日に公示し、届け出期間を5月16日から22日までとしておりましたが、届け出があったのは会長予備選挙当選者の現会長の宮本候補の立候補と、宮本候補から推薦された12名の先生方でした。選挙管理

委員会において資格審査を行った結果、提出いただいた書類、経歴書、契約書に不備はなく、いずれの候補者も適格であると判断しました。



理事選挙について報告

次に監事選挙についてですが、理事選挙同様、5月15日に公示し、届け出期間中蔵田幸一先生、古川猛先生2名の推薦届けがありました。蔵田先生の推薦者は稲葉逸郎先生、與儀実彦先生、古川先生の推薦者は小野秀樹先生、井口泰治先生でした。資格審査を行った結果、候補者として適格であると判断し、選挙規則第14条の4に基づき、理事、監事候補者が定数内の場合は、総会出席者の挙手により議決を行うとありますので、各候補者の氏名を一人づつ読み上げますので、承認いただける場合は挙手をお願いしたいと思います。また本日の総会出席者が31名、委任状が247名ですので過半数の140票で当選となります。

全ての理事、監事候補が当選承認され、当選証書の授与がなされた。

第8号議案 県歯会代議員及び予備代議員の選任に関する件

第1号議案から第8号議案まで全て承認可決された。

8. 協議

1. 終身会員について

(執行部より)

終身会員については前回も協議に挙げましたが、すぐに何かを行動するわけではありません。県歯の方は次年度より収入割を0.5/1000引き上げを目指していると

いうことを聞いております。年齢の引き上げはせずに、収入割の引き上げで対応するそうです。市歯科医師会は均等割一本化にしておりますので、そういう対応はすることができません。審議会では三笠先生より、年齢の引き上げではなくて、終身会員への在籍年数を引き上げるのも手ではないかご提案いただきました。これも一つの考えかなと思います。色々なご意見を聞きながら将来に向けて考えていきたいと思っております。

2. 歯周病検診について

(執行部)

今歯周病検診のマニュアルを熊本市と検討して作成しております。

＜対象者＞当該年度に40歳、60歳になる市民
＜実施方法＞業務委託により、歯科医療機関で歯周病検診を実施する。

＜検診単価＞3,600円(受診者の自己負担金、市歯科医師会事務手数料、消費税込み)

＜受診者の自己負担金＞400円(但し、非課税世帯、生活保護世帯は無料とする。

＜検査項目＞

①問診

②口腔内検査(現在歯・喪失歯の状況、歯周組織の状況、口腔清掃状態、その他の所見(歯)楔状欠損、歯列、咬合、顎関節、口腔粘膜等)

③検診結果の判定、説明

④口腔衛生指導

検査項目は後期高齢者より妊婦健診の方に近いと思います。CPIとか歯式を診ます。

実際これが始まるのは10月からになります。歯科医療機関が検診した場合、市歯科医師会に検診結果を送付します。そうすると支払いを歯科医師会から行うという形です。

検診票は複写式ではありませんので、コピーして歯科医師会の方にお送りください。

詳細に関しては今詰めている状態なので、9月ごろにはマニュアルを含めて説明できる予定です。



歯周病検診の目的について質問

Q.(清村正弥先生 中央区第4)

行政に関しては、純粋に歯周病の罹患率を下げていくのが目的なのでしょうか？また、熊本市が市民に対する周知はどのように行うのでしょうか？

A.(執行部)

本来政令指定都市はこれをやらなければならなかったのですが、我々が尻を叩いてやっと重い腰を上げた状況です。行政としては、口腔内の健康状態を改善すると総医療費が下がるというエビデンスが出てきましたので、そういうものも期待してと思っています。

告知に関しては、市政だより、ホームページ、パンフレット等を利用することになっています。



検診票の記載内容について質問

Q(秋山 清先生 中央区第2)

検診票の中にいくつか文字の誤りと分かりにくい文言があるので、その辺りは変えた方がいいのでは？

受診率を上げるためには、粘膜という項目を強調すればあがるのでは？

A.(執行部)

粘膜のことに關しては、パンフレットに記載できればと考えています。

分かりにくい言葉に關しては、厚労省のマニュアルに同様の文言があるので、どうしても変えれないとのことでした。



歯周病検診の予算について質問

Q. (伊東隆利先生 中央区第1)

元々市の予算として3,600円で上がっているものを、自己負担400円を無料にしたら、市が予算を3,200円減らしてくれるのではないかと？

A. (執行部)

行政が払うのは初めから3,200円です。400円は患者さんからの負担金で貰う。合計をこの紙に3,600円と書いてあります。なので患者さんから400円を貰っても、貰わなくても初めから予算は3,200円なのです。

ただ、負担金の無料化については、市と今詰めているところなので、まだ変更になる可能性があります。

Q. (椿 誠先生 中央区第3)

負担金無料では、検診自体が中々広がらないのでは？できれば行政に検診の周知徹底をやってもらえればと思います。

会員の医院では負担金なしというのは、どこかから突っ込まれたら、行政は責任持ってくれるのでしょうか？

A. (執行部)

患者負担金を0円にするというのは、表向きに出ます。こっそりとかではなく、行政の市政だより等にもきちんと載ります。

もちろん、先程も説明しましたように、負担金の無料化もまだ決定したわけでは



行政に検診の周知徹底をお願いします

ありません。

3. その他

・ 歯と口腔の健康に関する条例について
(執行部)

9月の議会には条例案を出すというふうになっています。9月で可決できなければ、12月で絶対可決はすると。それで令和2年4月施行を目指すという形になります。

・ 新入会員の委員会等参加について

(清村正弥先生 中央区第4)

最近是新入会員の方も多く、予算の都合もあり全員がどこかの委員会に入ってもらうのは難しいと思います。なので歯の祭典等、年間行事の中で何かしらお手伝いいただいて、歯科医師会の仕事に参加して頂けると、医道委員会の中でも説明がしやすいと思います。

(執行部)

支部の方でもできるだけ支部会の方に声を掛けて頂いて、そういう所から入ってもらうのもいいと思います。今は厚生委員会の方で、2、3年目の先生に声を掛けて集まる企画もしております。多くの方にいろんな方向から参加してもらえよう、今後とも検討していきます。ありがとうございます。

9. 会長選任報告

臨時理事会が開かれ、新任全理事一致で宮本格尚先生が会長に選任された。

10. 閉会 渡辺猛士副会長

(広報 鯨川正和)

令和初の審議員会開かれる。新たな時代の幕開け。

令和元年度 一般社団法人熊本市歯科医師会 審議員会



会計関係を中心に議論

6月20日(木)19時30分より、県歯会館3階市会議室にて、令和元年度一般社団法人熊本市歯科医師会審議員会が開催された。

1. 開会 渡辺 洋常務理事

2. 議長及び副議長選出

議長 秋山 清先生

副議長 松田 恵先生

3. 議事録署名人選出

七川洋二先生

上原凡由先生

4. 物故会員に対する黙祷

中央区第2支部 上田隆一先生

平成31年2月23日 御逝去

5. 会長挨拶 宮本格尚市歯会長

【要旨】

みなさんこんばんわ。6月の半ばも過ぎましたが、まだ梅雨入りしていません。このような大変むし暑い中、みなさんにお集まりいただ

き本当にありがとうございます。本日は審議員会の前に、連盟の話もありました。私もこういった立場になって、連盟活動をするようになりました。現在、我々熊本市歯科医師会は熊本市と協議をし、歯と口腔の条例を作ろうとしております。なんとか今年度中にできそうな感じがみえてきましたが、こういった事をしようとする場合に、熊本市は政令指定都市ですので、どうしても市議の先生と一緒にやっていかなければならない、政治力というのが必要となってまいります。政治のことですので、あまり言うべきことはありませんが、歯科から代表の方をだしていく事は大切なことです。もしよろしけれ



支部の盛り上がりが必要です

ばご家族、スタッフの方も含めてご協力いただければと思います。

また、本日は令和元年度最初の審議委員会、ならびに我々の任期も来週の総会までとなっておりますので、今期最後の審議委員会となっております。この2年間、審議員の先生方には大変お世話になりました。改めて御礼申し上げます。今期で辞められる先生方は本当にありがとうございます。私も引き続きよろしくお願い致します。私もいくつか支部を回らせていただいておりますが、支部長の先生方の一番の悩みは、なかなか支部が盛り上がらないということを伺っております。現在熊本市には会員が430名おります。結構会員は増えておりますが、なかなか支部の方へは来てもらえないとのこと。新しい支部になって2年しか経ってないこともあります。市歯も支部が盛り上がらないとなかなか盛り上がらない所がありますので、できるだけ協力していきたいと思います。引き続き支部長の先生方には、よろしくお願ひしたいと思います。

本日の審議事項は、会計的なものになります。が、我々1年間の成績表みたいなものですから、しっかり中をみていただき、忌憚のない意見をいただくことで、実行につなげていきたいと思ひます。県歯の方ですが、先週の土曜日の代議員会で新執行部に移っております。我々も来週の総会をもって任期終了となりますが、予定としましては私もあと1期務めさせていただきますことになりました。現執行部では広報の温理事が退任されますが、それ以外の理事、監事はそのまま残るということで、安定といえは安定なのですが、マンネリ化にならないよう引き続きしっかりやっていきたいと思ひますので、よろしくお願ひ致します。

6. 報告

- | | |
|-------------|----------|
| 1-1) 会務報告 | 高松尚史専務理事 |
| 1-2) 庶務報告 | 渡辺 洋常務理事 |
| 1-3) 会計現況報告 | 小野秀樹常務理事 |
| 1-4) 監査報告 | 古川猛士監事 |

7. 審議事項

1. 平成30年度熊本市歯科医師会一般会計収入支出決算について(小野秀樹常務理事)
2. 平成30年度熊本市歯科医師会収益事業会計収入支出決算について(小野秀樹常務理事)
3. 平成30年度熊本市歯科医師弔慰金制度会計収入支出決算について(小野秀樹常務理事)
監査報告(古川猛士監事)
4. 令和元年度熊本市歯科医師会一般会計補正予算案について(小野秀樹常務理事)
5. 令和元年度熊本市歯科医師会収益事業会計補正予算案について(小野秀樹常務理事)
6. 市歯審議員、特別委員会委員及び顧問、国保組合会議員の選任に関する件について(高松尚史専務理事)
7. 一般社団法人熊本市歯科医師会役員選挙について(高松尚史専務理事)



会計現況報告中の小野常務

8. 県歯会代議員及び予備代議員の選出に関する件について(高松尚史専務理事)

8. 協議

1. 終身会員について(高松尚史専務理事)
Q: 終身会員の条件に在会年数30年とあるが、この引き上げは考えていないのでしょうか?
(中央区第1 三笥 司先生)
A: 一つの考え方として検討させていただきます。ありがとうございます。



検診の患者さんは保険証で本人確認を

(高松尚史専務理事)

2. 歯周病検診について(高松尚史専務理事)

Q：歯周病検診を行った患者さんがそのまま治療に移行した場合、再診からの算定になるのでしょうか？

(北区第2 谷口守昭先生)

A：原則は再診からの算定になります。また、患者さんにはどこまでが検診、どこからが治療なのかをしっかりと説明していただければと思います。

(井口泰治理事、高松尚史専務理事)

Q：保険証の番号や住所を書く欄があるが、

住所が違っていただけに受け付けられない可能性があるのか？社会保険の保険証には住所が書いていないと思うので、免許証などで確認した方がよいのでしょうか？(東区第3 田中利明先生)

A：保険証にて本人であることを確認。住所は本人に書いてもらう。本来の本人確認は免許証などの確認が望ましいが、後期高齢者検診も保険証で確認をしているので、そこまでこまかく考えなくても大丈夫ではないか。(高松尚史専務理事)

3. その他(高松尚史専務理事)

9. 閉会 田中弥興副会長

(広報 甲斐田 光)



新しい執行部を紹介します

—— 新執行部紹介 ——



飯田理事が新しく加わりました



田中弥興副会長
(留任)

6月の定時総会にて理事選任を受け、再度の副会長を拝命いたしました田中弥興でございます。地震より3年が経過し、復興も進んでまいりましたが、会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。前期までの本会改革に対してご理解ご協力いただき、会務を執行することができました。感謝申し上げます。

今期は、長年の懸案でありました歯と口腔の健康条例制定への道筋が整い、いよいよ実現しようとしています。そのような小、中学校フッ化物洗口普及事業も少しずつではありますが前進しておりますし、昨年よりは、地域包括支援センター（ささえりあ）圏域ごとに高齢者自立支援を目的に多職種が集まり地域ケア会議が始まり、各地域の先生方に出務を頂いております。また、以前より市のほうに提案しておりました成人歯科健診も10月よりは40歳、60歳を対象にした歯周病検診が開始されることが決まりました。これも偏に行政、医科や多職種との連携を綿密に行ってきた成果だと思います。この機会に、より一層歯科界の地位向上を目指し、会員のお役に立てるようがんばっていきたいと思います。

さて、前期は創立100周年記念誌編纂準備委員会にて多くの先生のご協力を頂き、ありがとうございました。本会年表を作成することができました。まだまだ不完全な部分がありますがホームページに掲載させていただきますのでご供覧ください。そして令和2年度は創立90周年という節目を迎えることになり、そこに向けて記念事業も計画しております。先達の先生方の業績を心に刻み、微力ながら会員の皆様のお役に立てるよう2年間の会務に取り組んで参りますのでよろしくご指導ご鞭撻のほどお願い致します。



渡辺猛士副会長
(留任)

6月に行われました総会にて再度理事として選任いただきました。先ずは会員の皆様にお礼申し上げます。

さて、この挨拶を書くに当たり、2年前の挨拶文を確認しましたが、その中にも書かれていました熊本市歯科保険推進条例が、やっとこの9月の議会に上程される運びとなりました。市議の先生とのやりとりで1日も早くと頑張ってきましたが、途中市議会議員選挙などもあり、この時期になってしまいました。しかし今回は本年度内に議会通過、条例制定、次年度より発効という道筋が来ておりますのでよほどのことがない限り間違いないものと思っております。

去年の本会新年会の席で大西市長が「2年以内に市内全小学校でのフッ化物洗口を開始する」という宣言をされましたが、実は学校フッ化物洗口は熊本市の健康福祉局との会議に於いて清村会長の時代からこれをいち早く実施するよう我々が提言し続けて来たテーマですが、先般熊本市を除く県下全校で実施されるようになり、熊本市の空洞化が起こったことに危機感を持たれたのでしょうか。もし条例制定が早期に実現していたならばこのようなたばたは無しに済んだことではないかと思っております。また、今秋から熊本市成人歯科健診事業が開始されます。これは、政令指定都市では実施することになっている事業で、やっと少し前進した感があります。実施にあたって皆さんがこのシステムを使いやすいように現在調整を進めている段階です。

国の行く先を決める「骨太の方針」にも連年に渡り歯科保健の推進が謳われており、医科においても口腔の健康の重要性が認識されるに至り、現在歯科にとっては追い風が吹いているはずですが、未だその実感が全くありません。これからこの追い風をただ吹き抜けて行く風とせずに実のあるものにするために微力ではありますが精進して行きたいと思っております。

これから2年間の任期ではありますが、宮本会長のもとで誠意を持って勤めさせていただきますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



高松尚史専務理事
(留任)

宮本執行部にて専務理事を拝命し、6年がたちました。この間に、様々なことがらを役員・会員の先生方と議論しながら、改変・実行できたことは、嬉しく思います。

対内的には、会費の均等割一本化と会員種別の変更、行政区割り及び小学校区割りに沿った支部制の変更などを行い、さらなる本会の発展の礎になったことと思います。また、体外的には、フッ化物洗口マニュアルが完成し、それに伴い小学校フッ化物洗口が着実に進み始めています。市民の健康に資する本会の役割の重要性をもっとアピールしたいと思います。

今回、新たに専務理事を拝命しました。執行部はほとんどかわりませんが、専務理事として、気をひきしめて会務運営にあたりたいと考えます。

長年懸案だった、成人歯科健診事業が、40歳・60歳と少ない年代ではありますが、令和最初の新規委託事業となります。多くの成人市民の口腔への関心を高める良い機会だと思います。会員の先生方のご協力を得ながら、多くの健診を行い、潜在患者の掘り起こしから、市民の健康を維持するための歯科医師の役割をアピールしたいと思います。よろしくお願いいたします。

また、口腔保健条例の制定を推進し、歯科医師会と行政のスムーズな連携強化をはかりながら、今まで以上に様々なことがらを提言し実行していきたいと考えます。本会会員の意見を聞きながら、よりよい会務運営を目指すとともに、県歯・日歯や医療関係団体と相互に連携し、地域医療の充実を図り、本会会員の地位向上を目指します。先人の会員からの大事なことは継続しながら、必要な部分に変革を進めながら、発展・継続する歯科医師会を目指したいと思います。最後の2年よろしく申し上げます。



小野秀樹常務理事
(留任)

前期に引き続き会計担当常務を拝命いたしました。会計担当として2期目となります。会計のことは全くわかりませんでしたが、この2年間で少しは流れがわかるようになってきました。本会の会計は現在のところ予算内に収まり滞りなく執行されています。また、その収入の大部分は会員からの会費によるものです。昨年度4月より会費を1万円に値上げさせていただきましたが、無駄な出費はできるだけ無くし、必要なところに収容できるよう心がけたいと思います。また、今後のことを考えると会館も古くなるにつれ修理費の増加や備品の更新などが必要ですし、今の会館も永久に使えるわけではありません。来たるべき時のための貯蓄も必要となると思います。これらの事を考えつつ会務にあたりたいと思います。微力ではありますが宮本執行部を支えられるよう頑張りますのでよろしく願いいたします。



渡辺 洋常務理事
(留任)

本年度も引き続き庶務担当常務をお引き受けすることになりました。対内事務の統括が主な仕事です。又、社保委員会のバックアップも引き続き行う予定です。加えて新たに支払基金での審査委員として出務することとなりました。今後ともよろしく願いいたします。



大塚昭彦常務理事
(新任)
学術担当理事兼務
(留任)

宮本執行部4期目の今期より、常務理事並びに4期目の学術委員会理事を担当させて頂くことになりました大塚です。

これまでの3期6年間、試行錯誤しながら会務運営を行ってきましたが、皆様のお役に立てたのか自問自答しております。さらに今期からは常務理事と学術委員会理事の兼務となりました。気を引き締めて、新たに会員のためになる事業計画とその執行を行っていく所存です。

さて、学術委員会では、年間3回の学術講演会を行うことを基本としています。最近では、CAD/CAMの臨床応用と適応症の拡大、光学印象等の新材料、新技法の登場と、

新しい考え方も増加しており、臨床の変化に遅れをとらないように会員の皆様に対して有益な情報を発信するべく日頃より努力しておりますが、先生方で臨床における疑問点や、“〇〇先生の話が聞いてみたい”、“〇〇分野の情報は何かないのか？”等のご要望があれば、私共にお申し付け下さい。なるべく会員の皆様の意見を取り入れて魅力ある講演会の企画、学術的情報の発信を行っていききたいと思います。

今期はこれまでの経験を活かし、さらにパワーアップして会務に携わっていききたいと思っておりますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



嶋田英敏
厚生担当理事
(留任)

引き続き厚生理事を担当します。おかげ様で親睦会への参加者は増加しております。ショルダービアサーバーが大好評で市歯科医師会親睦会の鉄板になりました。最近では新年会の日本酒コーナー（いのもと酒店プロデュース）が好評なので今後の定番にする予定です。会員同士が広く顔を合わせる機会ですので内容を充実させ200名以上が参加する新年会にしたいと思っております。夏のビアパーティーも様々なアイデアを考えていますのでご期待ください。

また、会員の高齢化に伴い緊急時の代診派遣制度の充実が必要になってきています。熊本県での保険医登録がなされていれば非会員でも協力医になれますので(ご家族・知人で)該当される歯科医師にお心当たりがあれば協力医登録をお願いします。



井手裕二
地域学校歯科保健担当理事
(留任)

前回に引き続き、地域学校歯科保健委員会理事の井手裕二です。

歯磨き巡回指導、学校歯科研修会、熊本市学校保健会等の学校歯科を担当しますのでよろしくお願いします。

小学校、中学校においてフッ化物洗口事業の実施校が増えてきます。事業に対するご協力とご理解のほどよろしくお願いします。

今年、ラグビーワールドカップ、女子ハンドボール世界選手権大会が熊本で開催されます。

スポーツを行う児童、生徒にマウスガードの推進のご協力をお願いします。



後藤俊秀
地域学校歯科保健担当理事
(留任)

2期目となりました、地域学校歯科保健委員会理事の後藤です。初めての経験だった前期の2年間はとにかく不慣れで右も左も分からない状態でしたが、井手理事を始め、委員の先生方に助けられて、どうにか無事に委員会の運営ができました。当委員会は歯の祭典、健康フェスティバル、歯たちの健診など、以前から行っている事業に加え、障がい者歯科健診、地域包括ケア関係など対外的な出事が増え、委員の先生方の協力無しには立ち行きません。今期は前期の経験を活かして頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



飯田誠治
広報担当理事
(新任)

広報委員会に入って11年目になります。他にも、10年以上のベテランメンバーが3人もいて、かなり成熟した委員会となっています。広報委員会の活動としては中岳のレイアウト、校正とかかわら版の作成が中心になります。地道な作業が多いのですが、会員の皆様に正確な情報を届けたいと思っていますので、頑張って仕事をしています。かわら版は委員が持ち回りでひとりでレイアウト、構成をしています。特に冒頭のコラムは、書いた委員の個性が出るものなので、ぜひ読んでいただきたいと思います。どの委員が書いたものか想像してみても面白いかと思います。また、中岳のフリートークと表紙の写真(県内のもの)を随時募集していますので宜しくお願いいたします。



有働秀一
医療管理担当理事
(留任)

2年間大変お世話になりました。様々な仕事がありましたが、委員の先生方の協力のもと問題なく仕事を全うできたと思います。また会員の先生方のご協力のおかげで放射線漏洩測定器も問題なく回せているようです。早いもので7月より理事就任から3期6年が終わり4期目に入ります。委員会活動に関して、年々法律部分で改正などが多くみられ、出来るだけ世の中の流れに即した活動を考えていかなければいけません。今年より労務に関する法律が大きく変わり「働き方改革」を国が推し進めています。歯科衛生士不足の近年ですが、今後いかにこれまでと経営形態を変えず、スタッフに無理せず医院に定着させていくかが課題となります。それらを加味して会員に有益な情報がお伝えできたらと考えます。今後も変わらないご指導、ご鞭撻を宜しくお願い致します。

あと2年宜しくお願い致します。



井口泰治
社保担当理事
(留任)

引き続き社保委員会を担当させて頂きます、井口です。

一期目を振り返ると、ただ目の前の課題や仕事に取り組むだけで時間が過ぎていったように思います。経験豊富な先輩や頑張ってくれる後輩委員に助けられて何とか2年間乗り切ることができましたが、しっかりとした成果を残せたか疑問です。今期は、この経験を糧にして、より会員の皆様のお力になれるよう一層の努力をして行きたいと思っています。

「社保は、温かみがあって頼りになる」と感じて頂けるような委員会を目指して頑張ります。



蔵田幸一監事
(留任)

この度、再度監事に就任しました蔵田です。宮本会長が就任されてからずっと監事として、執行部を見てまいりました。今期もいろいろな事業がありますが、執行部全員が考えているように、マンネリ化しないよう監事として目を配らせていこうと思っています。どうぞよろしくお願いします。



古川猛士監事
(留任)

宮本会長の下、監事を拝命するのは2期目となります。本会も会員数が400名の大台を超え、政令市の歯科医師会として、それなりの事業をこなしているところです。行政のほうでは、いまだに政令市移行の意識改革が不足している印象を受けますが、我々は一般社団法人として、対外的に公益性のある活動も行っていかなければなりません。そのため費用について、無駄のない活用を今後も見ていくつもりです。よろしくお願いします。

理事退任あいさつ



温 永智
広報担当理事
(退任)

委員に恵まれ役員に恵まれ事務方に恵まれ、とても充実した6年間でした。もう少し若かったら、あと少し宮本執行部をお手伝いしてもよかったのですが、年齢的にも後進に道を譲りたいと思います。この6年間、支えて頂いた全ての方々に、改めてお礼と、宮本執行部の今後益々のご活躍をお祈りします。

救急医療の定義の明確化と統計方法のさらなる統一を 平成31年歯科救急医療協議会と伊東歯科口腔病院との開放型連絡協議会

4月22日(月)19時30分より県歯会館3階第1会議室において、歯科救急医療協議会及び伊東歯科口腔病院との開放型連絡協議会が開催されました。

【出席者】

- ・ 国立病院機構熊本医療センター 中島健歯科口腔外科部長
- ・ 熊本大学歯科口腔外科 中山秀樹教授、福岡大喜医局長
- ・ 熊本市市民病院歯科口腔外科 太田和俊部長
- ・ 伊東歯科口腔病院 伊東隆三病院長、篠原直幸副病院長、中井大史診療科長、相良孝治事務局長 坂本雅一様(総務)
- ・ 熊本市歯科医師会 田中弥興副会長、高松尚史専務理事、嶋田英敏厚生理事、有働秀一医療管理理事、高橋禎医療管理委員長



対応病院へ謝辞

まず、田中先生より開会の挨拶があり、休日対応と救急医療を依頼している4つの病院へお礼を述べられ、歯科救急医療の必要性を話されました。歯科医師会も日曜、祝日の休日診療を会員全員の輪番制にして稼働していることを述べられました。つぎに協議題に入り、各医療機関より1年間の救急医療の報告をしてもらいました。

まず、各医療機関での救急医療状況について協議し、熊本医療センターでは平成30年度に救急外来から院内紹介された歯科救急患者数は、

昼間(8時半～17時)は78例で、夜間は54例で、計132例でした。内訳は例年と変わらず、外傷、切開、投薬、顎関節疾患、抜歯が多かったです。年齢別では、今年度は30歳代から70歳代が多かったです。年末年始(12/30～1/4)急患診療状況は合計1名でした。今年度は例年に比べてかなり少なかったです。中島先生からいつも協議題になっているが、救急歯科の定義をどうするかを決めていかないと統計の比較が難しいのではないかと述べられました。

熊本大学病院(平成31年4月より名称変更)では30年度は平日昼間は31名、夜間は23名、延べ54名でした。内容は外傷(骨折)、切開、投薬が多かったです。年齢別では70歳代から80歳代が多く、全身疾患の状態も悪い方が多かったそうです。救急性においては救急性ありが40名、なしが14名でした。年末年始の状況は合計5名でした。内容は投薬と顎関節疾患でした。

熊本市市民病院では地震のため、時間外診療は受け入れていないそうです。30年4月より31年3月までの救急歯科の状況の説明がありました。患者数は88名で、去年とほぼ同じでした。患者数はどうしても今日診察してほしい患者をカウントしています。月別では11月と2月以外は、10名程度の患者数でした。治療内容は消炎処置が多く、外傷処置や投薬がありました。また、顎関節疾患やヘルペス、BRONJなどもありました。そのほか、救急性があるものは29名、ないものは59名でした。年齢別状況では、40歳代から80歳代が多かったです。

伊東歯科口腔病院において平成30年4月から平成31年3月では延べ3,400名で昨年より500名ほど増えています。その中での昼間の初診の人数は920名でした。再診は529名でした。また夜間の初診は1,354名で再診は597名でした。月別に見ると少ないときで200名程度で、多い時には431名の月もありました。治療内容は、昼間は消

炎処置での投薬、根治が多く、抜歯、再セット、C処置が続いていました。夜間では消炎処置が多いのは昼間と変わらないのですが、外傷や抜歯、根管治療が昼間よりかなり多い結果でした。年代別に見ると昨年同様夜間の20歳代が最も多かったです。概して、口腔内状況が悪い傾向があります。0歳から9歳までの患者も多く、時間帯は午後10時ごろが多かったそうです。90歳代は35名、100歳以上が1名いました。救急性があるのは738名で、なしが2,661名でした。

年末年始の診療状況は延べ308名でした。今年は例年と比べて少なかったです。内容は約47%が投薬で、それを含む約67%が消炎処置でした。そのほか再セットが約8%でした。患者は痛みがあって来院されるが、痛みがなくなると来院しなくなる場合が多いそうです。



各病院歯科の対応状況を共有

歯科医師会の嶋田先生より日曜祝日救急歯科利用状況について説明がありました。平成30年4月から平成31年3月までの日祝日の昼間(午前10時～午後4時の当番医診療状況は、多い月では16件で、少ない月は6件で、合計161件でした。夜間(午後6時～午後11時)では多い月で16件、少ない月で2件あり、全体で115件でした。トータルでみると276件で昨年に比べ、80件ほど少なかったです。また、祝日が多い月に患者数が増えています。内容は消炎処置での投薬が最も多く38件でした。また、再セット、抜髄・感根処、SPが多かったです。顎関節疾患は0件でしたが、これはほかの医療機関で対応してもらっているものと考えられます。昼間の年齢別では去年と同様0歳から9歳と40歳代から50

歳代が多い状況でした。今年度も90歳代が2名いました。現在、当番医は輪番制で1名ずつ対応しているが、熊本市の広さを考えると、今後当番医の人数を増やす必要があるかもしれないという意見が出ました。

例年課題になる話ですが今後、歯科救急の医療体制をもう少し明確にし、統計方法のさらなる統一化を進めることが必要ではないかと意見がありました。今回、前年の意見をもとに改正したフォーマットを使用して、各医療機関との統一性は良くなったようです。ただ、病状をどこまで救急に入れるかや、時間内はどうかの難しい等の意見が出ました。例年の課題ですが、何を基準に救急性があるとみなすのかが課題として挙げられました。次年度は、救急性の定義を時間で統一してみて、その統計結果から、新たな課題で見えてくるのではないかという意見も出ました。また、この集めたデータを何に利用するのかなど、今後さらにいろんな課題が出てくることが考えられるので、この協議会で救急歯科の定義を含めて話し合っていく必要があると意見が出ました。各病院歯科の対応状況を共有できたことには意味があったと思われます。中島先生より、どの病院歯科も限られた人員、時間で通常の診療の中で救急患者の対応をしている。定期健診を受けていれば避けられた症例もあり、当然、歯科医師が対応できる限界もあるので、これから先の目標として、救急にならないよう市民に定期健診の必要性を伝えたほうが良いのではとの意見がありました。



代診派遣について意見交換

最後に、高松先生より、熊本市歯科医師会は、

会員に対し救急歯科に対する現状や対応方法を伝え、全会員の意識をあげていく必要があると述べられ閉会となりました。

続いて行われた、伊東歯科口腔病院と熊本市歯科医師会との開放型連絡協議会では、平成30年度の紹介27.5%、逆紹介56.3%でうまく機能しているとのこと。現在ではほとんど紹介状を持ってきてもらっている。入院患者の紹介に関しては、紹介率48.9%でした。歯科からの紹介は42.4%でした。平均して10日間ほど入院しているそうです。外来患者の疾患別の状況は、歯牙疾患と歯性感染症が最も多く59.4%でした。その内訳は埋伏歯41.3%、歯牙疾患27.3%、炎症19.8%が多かったです。入院患者の地域分布は、市内が56.1%ですが、県外が4.5%ありました。また、昨年同様、共同診療の利用が少ない状態でした。30年度の共同診療先生は延べ20名で、件数は28件でした。患者さんも喜ばれるので、歯科医師会からも会員に対して、今後さらに啓蒙活動を行っていききたいとのことでした。共同診療は1日1回だが、回数は特に定めがないそうです。また、紹介するにあたり、伊東歯科口腔病院の場所、診療時間、ホームページにPDFファイルなど各医院で印刷できるようにしてもらえないかという意見も出ました。伊東歯科口腔病院では消灯時間の午後8時まで

の時間は都合の良い時間に共同診療ができる体制を整えているとのこと。伊東歯科口腔病院の病床は24床で入院期間は短くて2～3日、長い場合3週間ぐらいあるそうです。高松専務より疾患別の大まかな入院日数がわかると、共同診療しやすいとの意見が出ました。

代診派遣について、手続きの方法や派遣後の報告等についていろんな意見が出ました。嶋田理事からは代診を依頼するにあたり、どの先生がどこまで可能かどうかをまず、知りたいとの意見が出ました。伊東先生からは、派遣後の報告も含め、手続きの順序を明確にしてほしいとの意見が出ました。高松専務から、手続きのやり方をもう一度再考し、スムーズな運営ができるようにしていくと述べられました。

これからも開放型病院とかかりつけの先生との医療連携を密に行うことによって、地域の中で機能分担を行い、地域完結型医療が達成できるので、地域の拠点病院となるように機能分担を行っていききたいと考えていると述べられました。これからも後方支援病院として発展していくためには、県歯科医師会や各郡市の歯科医師会にも協力してもらうことが必要であるという意見が出て閉会となりました。

(医療管理 高橋 禎)

がん治療における副作用を理解し、治療成績の向上を目指す

～ 医歯連携セミナー ～

6月13日(木)20時より、国立病院機構熊本医療センター2階の地域医療研修センターにおいて、医歯連携セミナーが開催された。今回は「腫瘍内科が目指すがん薬物療法体制ーがん免疫療法に焦点をあててー」という演題で、国立病院機構熊本医療センター腫瘍内科の境健爾先生の講演が行われた。司会進行は、歯科口腔外科の中島健先生が務められ、宮本会長の挨拶の後、講演が開始された。尚、座長は、熊本市歯科医師会の有働秀一理事が務められた。



がん薬物療法について説明

最初に、がん薬物療法についての説明があった。がんの治療法には、手術・化学療法・放射線療法・緩和療法がある。その中で、演者の専門分野である腫瘍内科では、化学療法と緩和療法を行っているとの事である。まず化学療法の種類・方法やがん治療における位置づけ等について説明があり、また「大腸がん」を例にとり治療の流れの解説があった。緩和療法において、がんによる終末期は、1～3ヵ月程度である。それまでは、日常生活を送る事が出来、場合によっては仕事も可能であるとの事であった。

次に、今回の講演の本題である免疫チェックポイント阻害薬についての説明があった。

免疫療法には、サイトカイン療法・樹状細胞療法やがんワクチン療法など様々な方法が存在するが、なかなか治療成績が上がらない。それ

は、がん細胞からブレーキをかける分子が出ている、いわゆる免疫チェックポイントを使って巧みに逃れていることが解った。そこで開発されたのが、免疫チェックポイント阻害薬で、その中でT細胞の免疫チェックポイントのPD-1を阻害する薬剤として開発されたのがオプジーボ(Nivolumab)である。オプジーボは、免疫療法として初めて臨床試験で効果が確認され、化学療法が効かない悪性黒色腫に対しても効果が期待できる。現在日本では、肺がん・腎細胞がん・ホジキンリンパ腫・頭頸部がん・胃がんと様々ながんで効果が確認され承認されている。特徴として、多くのがんで、奏効率20～30%と思ったほど効く人が少ない、しかし一度効くと長く持続的に効くようである。また、副作用が少ないと言われているが、実際は独特な副作用が思ったよりも多いとの事であった。重大な副作用として、免疫のブレーキを解除し、免疫が過剰に反応することによる自己免疫疾患が問題となっている。その対策として、早期診断・治療で対応が可能のため、国立病院機構熊本医療センターでは、免疫関連有害事象対策チームを立ち上げたとの事である。今後の展望として、有望な治療薬であることは間違いないため、従来の治療を含めた集学的治療により、治療成績を上げていきたいとの事であった。



多くの質問が出た会場

最後に、質疑応答が行われ、歯科口腔外科の谷口先生から、自己免疫疾患等の副作用が出た場合の対処について質問があった。熊本医療センターでは、情報を共有し解決出来るシステムの構築が出来ているため、安心して治療を行ってほしいとの事であった。今回は話題のオブ

ジーボの話が聞けて、大変有意義な時間となった。意外と重篤な副作用が問題となっているが、有効な治療であることは間違いなく、今後の発展が期待される。

(医療管理 片山晃紀)

医療情報アラカルト

耳管開放症

耳管開放症とは耳の奥と鼻の奥とつながっている管(耳管)が開きっぱなしになるために起こる病気です。耳がふさがった感じがしたり、自分の声が耳に大きく響いたりする病気で、時にはめまいや軽い難聴が起こります。不快な状態が続くと精神的にイライラしてきます。マイナーな病気のため、今まであまり研究されてきていませんでしたが、似たような症状を経験したら、この病気のことを考えてもいいかも知れません

氷食症

土や毛など栄養のないものを食べたいくなる異食症の一つで、普通ではありえないほどの量の氷を食べたいくなる病気で、目安として一日製氷皿の水を一皿以上食べると、この病気が疑われます。原因としては、ほとんどが鉄欠乏性貧血か鉄欠乏症と言われています。男性より女性に多く、特に妊婦の方によくみられるとのこと。

全身麻酔の作用機序

局所麻酔の作用機序は細胞にあるNa⁺チャンネルを阻害して神経インパルスの発生と伝導を抑制するによって起こると解明されているが、全身麻酔の作用機序は、まだはっきり解っていません。いろいろな仮説があるだけで、現在のところ経験則で使われています。

ブランケット症候群

常に特定の物を所持していないとパニックなどを引き起こす依存症

ブランケット症候群の人は、特定の物を常に触ることで精神を安定させており、特定の物が不安を回避する装備だと考えられる。

ペットボトル症候群

清涼飲料の飲みすぎなどで、急性の糖尿病になってしまうことです。

ジュースの中には多量の糖分が含まれており、1本でスティックシュガー 30本分(150グラム)の砂糖が入っているものもあります。(スポーツドリンクでは100グラム)

1日に摂取してよい糖分の量が20グラムですから、1本飲んだだけですでに許容量の軽く7倍以上採ってしまっていることになります。

スタッフのモチベーションアップと医院のレベルアップを目指して ～スタッフレベルアップセミナー～

6月8日(土)14時より熊本県歯科衛生士学院5階実習室にて、株式会社GCの歯科衛生士古谷幸子先生、角本麻鈴先生を講師に迎え、スタッフレベルアップセミナーが行われた。毎年この時期に、主に新人歯科衛生士、歯科助手を対象に印象採得、石膏練和と注入、セメント練和、接遇セミナー、ミニブラッシング指導などの基礎的な知識の習得及び実習を含めた内容となっている。



奥深い練和のテクニック

まず医療管理理事の有働秀一先生の開会の挨拶のあと、本日の講師の古谷幸子先生より挨拶があり8名の参加者が2班に分かれてセメント練和実習、印象採得及び石膏練和、注入実習より始まった。

セメント練和実習では、合着用グラスアイオノマーセメント、光重合型充填用レジン強化グラスアイオノマーセメント、高強度充填用グラスアイオノマーセメント、接着性レジンセメントが用いられ、グラスアイオノマーセメントはレジンセメントに比べ利点として、生体親和性、フッ素徐放性、リチャージ性、歯質接着性などの特徴があり、欠点としては感水性がある。グラスアイオノマーセメント、レジンセメントではプラスチックスパチュラと紙練板を使用し、グラスアイオノマーセメントは粉液の正確な計量のためノズルに付着した液はガーゼにて拭き取り、液は逆さ(垂直)にして指で容器をはじい

て気泡を抜いてから軽く押して練板の中央に滴下し、粉は少しほぐしてから練板の外側よりに出した方が練りやすく、充填用のセメントの練和時には練板を広く使い最初はパタパタと叩きこむようになじませ、スパチュラを返しながらい指定の練和時間をしっかりと守り最後まで練り込むことで本来の強度が出る。又充填用のセメントの場合には、固くなりがちのため最初に粉、液ともに2分割して練っていった方が練りやすい。接着性レジンセメントはカートリッジ式で柔らかいペースト状になっていて、A、Bのペーストの比率を合わせるため最初は少しだけ出して捨てた方が望ましくスパチュラの先端部分だけで簡単に練れてしまうため注意しないと逆に練和不足となり強度不足になってしまうことがある。又ジルコニア等のセラミックには専用のプライマーにてシラン処理が必要となる。



接遇セミナーも行われる

アルジネート印象、石膏練和と注入実習は、トレーの選択、試適、粉/水の計量、練和、トレーへの盛り付け、印象採得、石膏の計量と練和、脱泡、印象材への注入、模型の撤去という一連の流れの実習で、印象材も石膏も混水比を守ること、粉末は湿気を吸いやすいため計量後はケースの蓋をしっかりと閉めること、計量カップで粉をほぐしてすくったら軽く擦り切り決して強く押し付けたり、何度も擦り切らないようにし、粉が圧縮することを防ぐことで固練りにな

らないようにし、印象採得後は唾液、汚物を軽く洗い流し、水滴除去後寸法変化をできるだけ防ぐために速やかに石膏を注ぐか時間的に無理ならば湿箱か湿ったガーゼかペーパータオルでくるむことで湿度100%にしておく。アルジネート印象材と相性のいい石膏は硬石膏で、印象材では粉に水を入れるが、石膏では逆に水に粉を入れなければうまくなじまないため注意し、30秒しっかりと練ることでカスタードクリーム状になったらバイブレーターをかけ脱泡を行い、最後臼歯より少量ずつ1方向から流すことで気泡が混入しにくい。口蓋部分は薄くなりがちなので注意して厚めに盛り上げる。

次に接遇セミナーが行われ、患者さんから選ばれるためには、まず質の高い治療を行い、患者さんの立場に立った医院づくりが必要で、患者接遇の基本原則として、身だしなみ(清潔感、上品さ、控えめに)と医院環境の整備、挨拶、表情、言葉遣いと態度でしっかりとした敬語(尊敬語、謙譲語、丁寧語)を身につけることが必要である。



2班に分かれて実習

ミニブラッシングセミナーでは、患者さんが毎日続けられることが大事なため、まずは歯の事、バイオフィルムを除去する事を念頭に置き、目指すのはプラーク0%ではなく習慣化させることで、う蝕や歯周病にならないところまでの均衡状態(バランス)をとることである。指導のポイントとしては、患者さんの口腔内や環境(カリエスタ입、ペリオタイプ、オペ後、年齢、持病など)に最適な歯ブラシを処方することで、ブラシの毛先の形状についてもラウンドタイプ

は効率よくプラークを落とせるが細かいところは入りにくく、テーパータイプは細かいところまで入りやすいがしっかりとつけたプラークは落としにくいといった特徴がある。

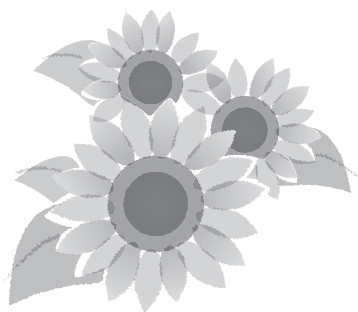


約3時間のセミナーだった

最後に有働理事より閉会の挨拶及び修了書の授与式が行われ、約3時間のセミナーは終了となった。

今回のセミナーで行われた内容は日常診療で行われている基本的なことですぐにでも明日から実践できる内容ばかりであるため今回のセミナーにより少しでもスタッフのモチベーションと医院のレベルアップにつながれば幸いである。

(医療管理 赤城忠臣)





会場を盛り上げたブックベア



CAD/CAMの実演に大勢集まる



新コーナーが大好評



口臭測定は人気コーナー



ドクターキッズの治療体験



衛生士さん体験コーナー

歯と口の衛生週間でのイベント『2019歯の祭典』が6月2日(日)ウェルパル熊本で開催されました。天気が心配されましたが、当日は好天に恵まれ無事に開催できました。

事前のPRのチラシは前回好評だったイラストレーター、なかにしたかし氏に子ども達が興味を引くようなイラストを描いていただき、市内の小中学校、幼稚園に配布させていただきました。

今年は昨年を上回る盛況で、延べ2,470名の来場者を迎えることができました。委員会では、歯の祭典を『10年後の歯科医療従事者を創る』ことをメインテーマとし、体験型のコーナーを少しずつ増やしています。昨年から始めた、むし歯治療体験コーナーの『ドクターキッズ』では、穴を掘った人工歯に光C R充填を子供たちにもしてもらいます。柔らかいペーストが光で重合するのを見て驚く姿に私たちも嬉しくなりました。また、歯型や石膏模型、パノラマ、口腔内写真などの資料を手掛かりに犯人を見つける『犯人を探せ！名探偵は君だ』という迷路のコーナーは大人も間違い難しさで子供たちは何回もチャレンジしていました。CAD/CAMの機械で歯牙の削りだしの実演には大勢の人が興味深そうに見学されていました。

日中は各コーナーには順番待ちの来場者が絶えない状態でしたが大きなトラブルもなく無事に終了できました。



スタンプラリーで賞品ゲット

衛生週間 の祭典～



宮本会長による開会挨拶

各コーナーの来場者数は以下の通りです。

歯の何でも相談	73名
CAD/CAM	120名
口臭測定	218名
矯正歯科相談	140名
歯医者さん体験ドクターキッズ	211名
犯人を探せ！名探偵は君だ	391名
熊本歯科衛生士専門学校紹介	299名
お口の健康ゲーム	435名
小児歯科	126名
お口の衛生	584名
お口の機能向上	311名
8020健康づくりの会	689名
フッ化物洗口体験	491名
災害時の口腔ケア	397名
「シュミテクト」	300名
歯科技工士会	458名
おもちゃくじ	700名
スタンプラリー	928名

参加していただいた各団体の皆様、支部の先生方、熊大歯科口腔外科の先生、イベントを支えていただきました業者様にはこの場を借りてお礼申し上げます。

来年も今年以上に盛り上げていきたいと思います。

(地域学校歯科保健 後藤俊秀)



矯正相談も相談者が多かった



結構多かった歯科相談



子どもたちは色塗りに夢中



子供たちも興味津々



フッ化物洗口体験



技工に興味持ってくれたかな？

歯磨き巡回指導を行って 池上小学校編

子ども達の元気は、お口の中から

6月18日(火)10時30分～11時15分、池上小学校3年生34名とたんぽぽ学級9名の歯磨き巡回指導を、教育委員会より2名、歯科衛生士会より8名、校医の古川猛士先生、地域学校保健委員会より町田由美子で行いました。



人形を食い入るように見つめる生徒たち

私が担当した3年生のクラスでは、初めの挨拶の後、歯科衛生士会よりパノラマを用いて乳歯が永久歯の下にあることを『大人の歯が順番を待ってるよ!』と示した後、う蝕、歯肉炎、歯並びについてイラストを用いて説明し、位相差顕微鏡の細菌動画では思わず『うわ!』と歓声。①食べたらいねいにみがく②好ききらいしないで、よくかんで食べる③おやつは時間と量を決めて食べる、という3点を指導しました。



ユーモアを交えた指導

その後の歯磨き指導については、舌で歯の表面のヌルヌルを確認してもらい、その後染め出

し、鏡で見てプラークを確認。いきなり鏡を見て磨かせるのではなく、1分間鏡を見ずに磨いてから再度磨き残しを鏡で確認。そうすることで各自の磨き残しを自覚させました。

『どこに残ってるかな?』歯の表面、歯と歯の間、歯と歯ぐきの間、かみ合わせということを児童から発表ののち、ごしごしと音がするくらい強い力で磨いても取れなかったことをふまえて、ポイントは軽い力で鉛筆持ちで、と指導。それから10秒ずつカウントしながら、同じ部位をみんなで磨いていく。(ここでも鏡は見ないで磨いています)そうして口腔内を一回り磨いた後、再度鏡でチェック。みがき残し部位は?犬歯部、歯列不正部ということを自覚してもらい、縦磨き、それでも落ちないところは個別指導。

最後に舌でさわってみて!ツルツル!この感覚を覚えておいてね!ということで指導終了。



きれいに磨けてるかな?

児童からは、

- ・ けっこうみがいてもプラークは落ちにくいな
- ・ 染めだすと、プラークがこんなに残っていてビックリした
- ・ プラークにこんなに細菌がいると思って、怖かった、気持ち悪かった、という感想がありました。

最後に、「一番大事なのは寝る前の歯磨き、仕上げ磨きも親御さんに頼んでね」と締めくく



虫歯の原因を説明

りました。小学3年生は混合歯列期で齲蝕発生リスクも高いので、この時期の歯磨き指導を行う意義を再認識するとともに、家庭では染め出しをしないので、今回のように鏡を見ずに磨くコツを体感してもらうことは非常に有効だと実感しました。

(地域学校歯科保健 町田由美子)

心を震わすシネマワールド

『ガタカ』

監督 アンドリュー・ニコル

製作 1997年 アメリカ映画

出演者 イーサン・ホーク ユマ・サーマン ジュード・ロウ

近未来、遺伝子操作で生まれた「適正者」と自然分娩で生まれた「神の子」は勉強、体力、病気、スポーツ、ビジネスなどあらゆる面で「適正者」より劣っているとされ、就職などで差別を受けていた。

「神の子」の主人公(イーサン・ホーク)は、「適正者」の弟との確執を抱えながら、宇宙飛行士になる夢を叶えるため、「適正者」に成りすまして宇宙局ガタカに就職する。

時々ある遺伝子検査も事故で下半身不随になった「適正者」のアスリート(ジュード・ロウ)の協力を得て、血液や尿のサンプルを利用して乗り切り、また大変な努力をしてやがて「適正者」しかないガタカの中でも優秀な成績を収め、次の探査船の宇宙飛行士に選ばれる。

しかし、突然ガタカの中で、唯一主人公を「神の子」と疑っていた局員が何者かに殺害されるという事件が起こる。運悪く現場を見に行った主人公の髪の毛が現場で見つかり、遺伝子検査の結果、ガタカにいないはずの持ち主が犯人と断定された。もう逃亡するしかすべがない中で何とか危機を乗り越え、犯人も見つかり一件落着かと思いきや、捜査の刑事達の中に、かつて確執があって今は断絶している弟がいて、この弟が主人公の純粋な夢を、不正入局を告発して壊そうとする。兄はこの危機も乗り越え、ついに宇宙に旅立つことになる。

ただ、最後の最後、宇宙船に乗り込むとき、思いがけないことがあり主人公は正体がばれて、ここで万事休することになります。しかしここで視聴者を泣かせることがあり、また一生分のサンプルを残してくれたアスリートにも心が震えます。

この時代の宇宙飛行士は今の飛行機のパイロットのように、スーツ姿でカバンをもって宇宙に飛び立つ設定なのですが、ラストシーンの宇宙船が打ち上げられているシーンの美しさは内容のせいもありますが、ある意味努力すれば報われるというカタルシスのせいでもあると思います。

(温 永智)

今年はビアサーバー担げませんでした



ワインが旨い



～第43回熊本市歯科医師会親睦大会～



親子で出席



新執行部紹介

けして実現にご協力ください。

熊本県産プレミアムモルツで雰囲気や和らいだところで、4期目に突入した宮本市会長の挨拶が始まりました。桜町再開発、駅前再開発など復興をさらに強化していく熊本市の行政サイドとの連携を中心に、本会のさらなる発展を祈念するとの内容でした。

また、今回は御来賓として熊本県歯科医師会・新会長伊藤明彦先生、同じく専務理事の牛島隆先生の御二人に御出席をいただき、伊藤明彦県会長より御挨拶をいただきました。さらに県歯科医師会からは御樽もいただいております。

その後、山室紀雄先生の音頭で乾杯！今回がたっぷり食べたい会員向けにコーナー料理は3品、スープカレー、担々麺、唐揚げを準備。カレーと担々麺の辛さは夏を乗り切るのに欠かせません。そして唐揚げはビールのみならずハイボールにも最適な一品です。

途中で高松専務の手慣れたマイクパフォーマンスで宮本会長4期目の役員・理事会の紹介、さらに牛島専務より市会員兼県役員の紹介があり県・市共に今期への意気を大いにしめました。

56Lの生ビールで会場が盛り上がったところで楽しい時間も終わり、最後は被り物を被った田中弥興市副会長(通称P様)に万歳三唱の御発声をいただき終宴となりました。

(厚生 嶋田英敏)



いつもお世話になっています



副会長の万歳三唱



ゲットだぜー



旨さ倍増！



今年も二人で参加しました

新入会員オリエ

ー 医療相談オリエンテーションー 医療相談委員会への早めの相談を



コンプライアンスが大切です！

7月6日(土) 15時より、熊本県歯科医師会館3階市会議室において、社保・医療相談オリエンテーションが開催された。宮本会長の挨拶の後、医療相談の研修があった。医療相談の現状について医療管理委員会委員長の高橋が講演した。

まず、研修のテーマとして安心・安全な歯科医療を目指して、医療安全という分野から考えることを話した。そして、現在の医療に関する法律の説明を行い、今まで以上にインフォームドコンセントの重要性を話した。また、ハインリッヒの法則の説明を行い、小さなヒヤリハッ



インフォームドコンセントが重要です

トを見過ごすことが大きなトラブルの発生につながることを強調した。

数例の事例を挙げて治療内容、治療費、接遇などの原因と対処法について検証を行った。また、補足として、自院で経験した事例を話し、どこの医院でもありうることを話した。

また、クレームに関しても、これからは増加してくると予想されるので、焦らず対処できるように歯科医師会からの冊子や医療苦情に関する本を数冊読んでおくことをすすめた。ミスが起こると患者は不安になり苦情に発展していく可能性があるため、未然に防ぐことが大切である。そのためには意思の疎通が重要であり、相手が何を求めているかを考えることが重要である。そのほか患者だけでなくスタッフからのクレーム・内部告発も増えているので就業規則などの医院のルールをしっかりと整えておくことが大切であると話した。

このような医院内のトラブルは他人にあまり知られたくないのでついつい自分ひとりで解決しようと考えてしまうが、県・市医療相談委員会が相談に乗るので、一人で抱え込まないで積極的に活用してもらうことを話し終了した。

(医療相談 高橋 禎)

ンテーション

ー 社保オリエンテーションー 個別指導の現状とは



個別指導の現況を説明

7月6日(土)15時より歯科医師会館にて医療管理委員会と社会保険委員会の共催による新入会員オリエンテーションが開催されました。毎年ビアパーティー前に行う恒例行事となっておりますが、今年は9名の新入会員を含む会員、未入会者1名の先生方に参加していただきました。社会保険委員会からは、「携行品から見る個別指導」(西山委員)と「個別指導の現況」(井口理事)についての説明を行いました。

普段の保険請求から個別指導に該当した場合の注意点について、カルテ記載や交付文書の記

載の仕方から日計表や納品伝票の取扱い等、日常の診療ではほとんど意識しないようなことに至るまで細部に渡り説明させていただきました。

オリエンテーションは毎年、新入会員向けに医療苦情と個別指導についての説明を行ってききましたが、未入会の先生方にも参加していただいておりますので、会の最後に高松専務理事が歯科医師会に入るメリットを強調されまして閉会となりました。

(社保 栗原健一)



歯科医師会のメリットを説明



合同



ウェルカムです



ウェルカムのワイン



事務局の皆様へ感謝



地域学校歯科の先生方



中根先生が乾杯の音頭をとられる



田中副会長による締め

6月12日(水)に、日航ホテル2階のブッフェダイニング「アソシエッド」で合同委員会が開催されました。常任委員会・特別委員会・臨時委員会・各支部長など、この2年間様々な会務運営にご協力をいただいた先生方をご招待し、感謝と慰労の催しを行いました。

今回は、ウェルカムワインを振るまいましたが、それでも開会前には、飲み干してしまい、全員のどがカラカラです。そのため、次第の順番を変更して、最初に中根先生による乾杯からのスタートです。ひとしきり、のどを潤したあとに、会長挨拶となりました。会員ならびに各種委員会委員の先生方の協力への感謝を言葉に会長の挨拶が行われました。

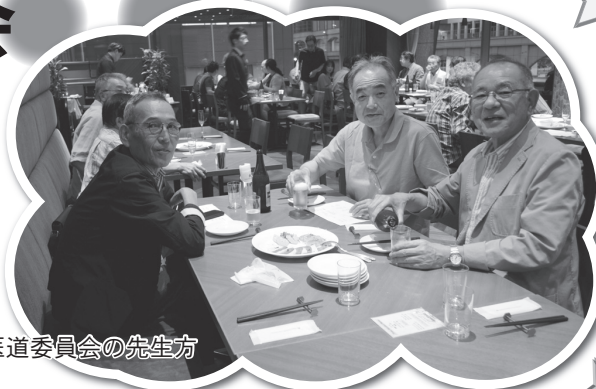
今回も、ホテル自慢の食事を堪能するため、執行部の出し物は控えめに、多いに飲んで食べていただきました。ビールとワインの飲み放題です。ワインボトルをもちながら、委員会の席を越えて、飲み交わす姿がありました。

もちろん、おいしい食事をひたすら食べる先

委員会



医道委員会の先生方



二年間お世話になりました

生もいっしょり、それぞれの時間を楽しく過ごされていたようでした。

今回の厚生委員会は、事務局職員への日頃の感謝を込めたプレゼントというサプライズイベントを企画していました。これは、執行部にも極秘のミッションです。合同委員会出席者一同、大きな拍手でプレゼント贈呈を行いました。

2時間という時間はあっという間にすぎ、定番の田中副会長の3本締めでお開きとなりました。各委員の先生方、支部長の先生方、2年間ご苦勞様でした。

(高松尚史専務理事)



医療管理の先生方



広報委員会の面々です



温理事勇退します(中央)



支部長の方々



学術と社保の先生方



2019年子育てすくすくこども博

今年も大盛況、子育てすくすくこども博2019

3月30日(土)、31日(日)の両日、グランメッセ熊本にて「子育てすくすくこども博2019」が開催されました。



家族連れで賑わっています

今年で14回目を迎えるこのイベントは、子育てに関する様々な情報の発信、子育て環境の改善、社会全体で子育てや子どもの成長を支えていくことを目的とし、熊本リビング新聞社、テレビ熊本の主催で開催されています。



上手にお口を開けています

30日は市歯科医師会地域学校歯科委員会、31日は県歯域保健委員会が2ブース分かれて相談コーナーを担当いたしました。2日間で約200名の相談者が訪れ、歯磨きの仕方が間違っていないか、フッ素塗布は効果があるのか、などの質問が多く聞かれました。珍しいところでは、上皮真珠、舌小帯強直の対処についても相談を受けました。



てれくまくんも大活躍

特設ステージでは、NHKでおなじみのワンワンとあそぼうショー、ハッピードリームサーカス、ちびまる子ちゃんキャラクターショーなどが催され、盛り上がりを見せていました。

最近、生活様式の多様化や共働き世帯の増加、保護者の就労状況の変化により、子どもたちや子育て家庭を取り巻く環境は大きく変化してきており、子育て支援の重要性がますます高まってきております。子育てを応援する取り組みの輪が大きくなり、子どもの笑顔があふれる熊本になる事を願っております。



丁寧に説明中

(地域学校歯科保健 井野 健)

若年者の先天性欠損修復症例

とよだ歯科医院 豊田 正仰

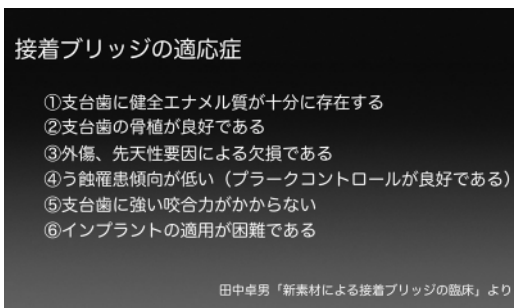
・はじめに

近年の歯科治療において、う蝕治療だけでなく、補綴・インプラント治療においてもMI(Minimal Intervention)の概念が浸透してきており、“より低侵襲な治療”にシフトしてきている。

前歯部1歯欠損の補綴治療において接着ブリッジを選択することによって、インプラント治療に必要な外科処置及びブリッジ作製に必要な歯質削除を回避することができ、機能的・審美的な回復が得られた症例を報告する。

【接着ブリッジの適応症】

図1

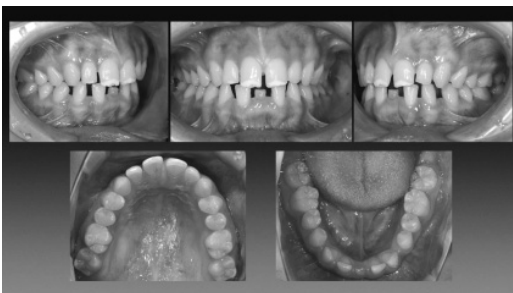


・初診

患 者：17歳 女性

初診日：2016年5月21日

図2



主 訴：前歯(乳歯)がグラグラする
見た目をきれいにしたい

現病歴：永久歯が萌出してこないことの自覚はあり、乳歯に関しては3カ月前から少し動揺があった。

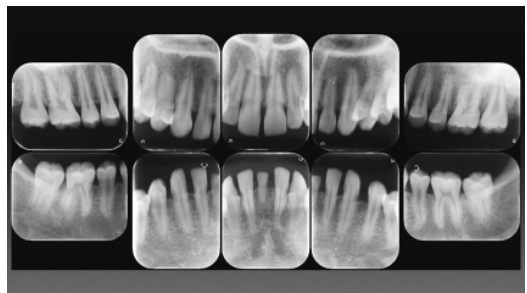
歯科的既往歴：小学生の頃に先天性欠損を指摘された。4年前、36咬合面CR修復処置。それ以降歯科受診していない。

全身的既往歴：なし

図3



図4



・検査所見

下顎正中部に乳歯の晩期残存

32、42先天性欠損

アンテリアガイダンスが浅い

36にコンポジットレジン修復

11、21の切端にホワイトスポット

上下顎前歯部の矮小

咬合関係は犬歯がⅠ級、臼歯がⅡ級

ブラークコントロールは良好

顎関節症状は特記すべき事項なし

・診断

先天性欠損、前歯部矮小歯による審美不全

・治療計画

- ①初期治療(TBI、スケーリング)
- ②矯正治療(犬童寛治先生に依頼)
- ③診断用ワックスアップ
- ④最終補綴
- ⑤メンテナンス

・治療経過

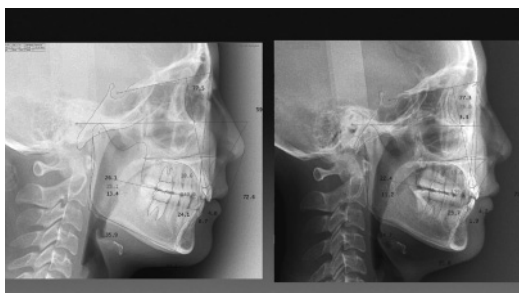
図 5



図 6



図 7



矯正治療は、臼歯部Ⅱ級関係の改善と32と42の補綴スペースの確保、前歯部の歯間空隙の閉鎖を行った。(2016年6月～2018年7月)

矯正治療はⅠ級の咬合関係を得ることができ、犬歯誘導が可能となった。Inter incisalは術前、術後においてほとんど変化することなく終わることが出来た。

・診断用ワックスアップ

臼歯部は咬合に特に問題はなく、矯正治療後そのまま経過観察を行なっていくこととした。

図 8



31切縁、33・43近心にコンポジット修復を行い、下顎前歯部の審美的な形態を得られるよう計画した。

・最終補綴

接着ブリッジに用いる材質(ジルコニア? ガラスセラミック?)設計(片側性? 両側性?)において苦慮した。

参考文献において、片側性のほうが成功率が高かったが矯正治療終了して間もないことから、リジッドに固定を得ることを優先し今回は設計を両側性接着ブリッジ、材質をGCのイニシャルLiSiプレスを用いることとした。診断用ワックスアップ通り31切縁、33・43近心にコンポジット修復処置にて形態修正を行った後、エナメル質の範囲内で支台歯形成を行い印象採得し最終補綴作製した。

図 9

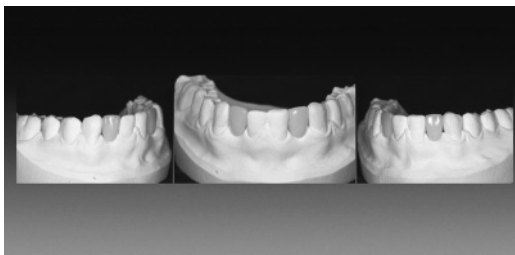
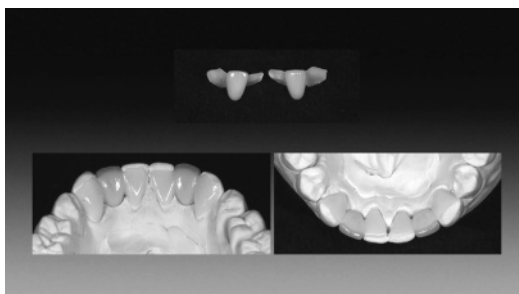


図10

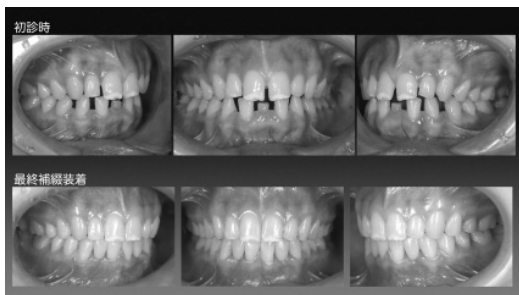


・考察

図11



図12



若年者の先天性欠損症例において、Minimal Interventionでの治療、接着ブリッジで審美的に良好な結果を得ることができた。

両側性接着ブリッジの接着界面の破断による脱離の問題を注意深く経過観察していかなければならない。

参考文献

- ・公益社団法人日本補綴歯科学会診療ガイドライン委員会
- ・接着ブリッジのガイドライン改訂版(2017年2月)
- ・Resin-bonded fixed dental prostheses as alternative to implants in the anterior region-Age as a criterion Matthias Kern Implantology 24(4) 389-398
- ・Ten-year survival of anterior all-ceramic resin-bonded fixed dental prostheses Matthias Kern J Adhes Dent. 2011 Oct;13(5) 407-10
- ・新素材による接着ブリッジの臨床 田中卓男

委員会紹介

厚生委員会



- | | |
|------------------|----------------|
| ①氏名 | ⑤委員会に所属しての感想 |
| ②開業場所・支部・開業年数 | ⑥趣味・特技・私のこだわり等 |
| ③家族構成 | |
| ④最近感動したこと・憤慨したこと | |



- ①嶋田 英敏
②中央区辛島
中央区第2
17年
③夫婦、大学生3人(2男、1女)
④「映像研には手を出すな!」がNHKで放映決定したこと。
視聴料とってダメ番組が少なくないので真面目にアニメ化して欲しい。
⑤親睦会の準備を愉しみながらやっています。
シャンパンタワーやりたいです。
⑥ダイキ工業の14年式コスモガンとコスモドラ
グーン、パースエイダー“カノン”を密林し
ました。年末公開の「この世界の(さらにいく
つもの)片隅に」を見ましょう!



- ① **長 忍**
- ② 南区島町
南区第1
20年目
- ③ 妻 長女 長男 次女 ネコ
- ④ 子供の成長
年金問題
- ⑤ 居心地がよく長居してしまっている所以次の先生方にそろそろバトンタッチを
- ⑥



- ① **田中 雄大**
- ② 東区花立
東区第2
5年
- ③ 妻 長男 長女
- ④ 子供達からの父の日のプレゼント
- ⑤ まだまだ仕事を覚えるので精一杯ですが、色々な事を教えていただき、また、多くの先生方にお会いできる機会があるので、有り難いと思います。
- ⑥ スポーツ・スポーツ観戦(ラグビー W杯が楽しみです)



- ① **川野 智美**
- ② 北区清水新地
北区第2
4年目
- ③ 父 妹
- ④ ライアーという楽器の生演奏を聞いて涙ができました。
認知症になった父の嘘
- ⑤ 委員会のことだけでなく、気軽に相談などできる場所ができて力強いです。
- ⑥ この頃参加できていませんが、野鳥の会に入っており、自然観察するのが好きです。



①上村 裕希

②西区春日

西区

6年目

③妻 長女(8才) 次女(6才) 長男(3才)

まだまだ働き続けなければなりません(泣)

④最近でもないですが、患者さんの装置を外して綺麗な歯並びになって喜んでおられる姿を見るときは、毎回、ちょっとした感動を覚えます。スタッフにおいて、昨日まで出来なかったことが、今回出来るようになっていて、成長感じてとても嬉しくなります。ある新人スタッフが年下のスタッフから物事を教えてもらう時に、丁寧に教えてくれるのでとても良い環境だと思います、と言って泣いたときはもらい泣きしそうになりました。

⑤ビアパーティや新年会で会員の先生方と話す機会が多くなるため、知らなかった先生と親しくなれるので役得と思います。

⑥剣道です。小学校からずっと続けています。高校卒業後ずっと2段でしたが、熊本に戻ってきて2年後に3段、5年後に4段に昇段しました。このまま行けるところまで頑張ろうと思います。



①正清 義朗

②北区

北区第1

3年

③妻

④Amazonの配送業者が最近ヤマトじゃなくてデリバリープロバイダが多くなって、思った時間に届かないこと

⑤まだ実感がわかりません。がんばります。

⑥旅行

学 術 委 員 会



①大塚 昭彦

②麻生田
北区第2
19年

③妻、長女、長男、次男、ネコ3匹

④家のネコが2回の出産でトータル11匹産んで、
子猫たちをちゃんと育てていたこと。
なるべく怒らないようにしていますが、最近
のあおり運転はまずいですね。しかし、自分
もドライブレコーダーをつけようか迷ってい
ます。

⑤委員の皆さんの個性には、感心させられます。

⑥いつまでも、サッカー大好きです。



- ①山口 英司
- ②東区新外
東区第2
- ③妻、長男(高校1年)
- ④ボクシング井上尚弥選手の連続KO
- ⑤お知り合いが増えました。
- ⑥テニス(観戦?)



- ①久木田 大
- ②東区湖東
東区第3
8年目
- ③妻、長男、長女
- ④高齢者の事故
- ⑤とても勉強になります
- ⑥ゴルフ



- ①澤幡 佳孝
- ②中央区帶山
中央区第3
6年
- ③私、妻、娘3人(中3、小6(双子)、小6(双子))
- ④日本一の石段3333段を2往復することができ、感動しました。
- ⑤未熟ですがこれから頑張ってまいります。ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願いいたします。
- ⑥趣味はマラソンです。神戸マラソンにエントリーしています。4時間切りを目指しています。



- ① 藤岡 洋記
- ② 東区戸島西
東区第1
3年
- ③ 私、妻、長男、長女
- ④ 長男が、初めて似顔絵を描いてくれたこと
長男が、その似顔絵を翌日には破っていたこと
- ⑤ この度は微力ながらお手伝いをさせていただくことになりました。諸先輩にご指導頂きながら、尽力いたします。
- ⑥ 登山、スキー



- ① 吉武 義泰
- ② 勤務医です。中央区第1
熊本大学病院の歯科口腔外科を經由し、現在、医療法人伊東会 伊東歯科口腔病院 に勤務しております。卒業21年目です。
- ③ 妻と8歳の娘1人の3人家族です。
- ④ ロサンゼルス・エンゼルスの大谷翔平選手が日本人メジャーリーガー初のサイクルヒットを達成したことに、感動しました。一方で、体が大きくなりすぎて、困っているのに、意思薄弱で全く痩せられない自分に憤慨しています。走れない…。
- ⑤ 初めての委員会ですので、緊張しております。お役に立てるよう、精一杯努力致します。
- ⑥ 鹿児島大学出身で、海に近い環境にあったこともあり、魚釣りは好きです。決して趣味ではありませんが、学会や勉強会にはよく出席しています。



- ① 谷口 広祐
- ② 国立病院機構熊本医療センター 歯科口腔外科
- ③ 3人兄弟の末っ子
- ④ 土日の緊急手術が1か月間に3回あったこと
- ⑤ 口腔外科関連で先生方のお役に立てればと思っています
- ⑥ 神社仏閣めぐり

医療相談委員会



- ①有働 秀一
- ②中央区南千反畑町
中央区第1
19年
- ③妻
- ④
- ⑤医療相談の仕事をさせて頂く上で、患者・先生共に不利益にならないように対処していくことを考えて仕事させていただいております。
- ⑥周りの流れに任せて、自然体で生きて行くことがこだわりです。



- ①徳丸 恵介
- ②南区鷹町
南区第1
28年
- ③妻 長女
- ④山里の結婚
子供を虐待する親
- ⑤市と県の医療相談を長くさせて頂いておりますが、これからも緊張感を持って仕事をしていきたいと思います。
- ⑥バイク・キャンプ・釣り



- ①田中 弥興
- ②北区龍田
北区第2
33年
- ③妻、犬一匹
- ④感動することが少なくなり、歳を感じるようになった今日この頃です。
憤慨すること多数あり。
- ⑤長年、患者さんの生の声を聴き、反面教師で日々の診療に役立てさせてもらっています。
- ⑥絵画、映画鑑賞、読書、ちょっとゴルフ



- ①高橋 禎
- ②東区下江津
東区第3
16年
- ③妻、子供2人
- ④昨年、小田和正のコンサートに行き、70歳とは思えない声とパフォーマンスに感動しました。
- ⑤日々遭遇する可能性のある事例に対し、対処法をいろんな角度から考えることができ勉強になっています。
- ⑥最近、またやせたとよく言われるので、もう少し体重が増えるように努力しています。



- ①中川 真樹
- ②北区内大塚
北区第2
5年
- ③私、妻、男の子3人
- ④同年代のイチローや上原選手の引退会見スピーチに感動しました
- ⑤自分の役目がまだよくわかっていないため、一から教えていただいて、感謝しています。
役に立てるように頑張ります。
- ⑥体重を増やさないようにとジムに通っていますが、成果のほどは……

医療管理委員会



①有働 秀一

②中央区南千反畑町

中央区第1

19年

③妻

④

⑤医療管理の仕事も長くやらせていただいています、マンネリにならないように頑張っていこうと思います。

⑥周りの流れに任せて、自然体で生きて行くことがこだわりです。



①高橋 禎

②東区下江津

東区第3

16年

③妻、子供2人

④昨年、小田和正のコンサートに行き、70歳とは思えない声とパフォーマンスに感動しました。

⑤委員会に入って10年以上たちますが、いつもいいメンバーと一緒に仕事ができ楽しいです。

⑥最近、またやせたとよく言われるので、もう少し体重が増えるように努力しています。



①関 喜英

②東区桜木

東区第2

14年

③父、母、妻、娘13歳、息子5歳、芝犬3歳

④初のオーストラリア旅行で訪れたブルーマウンテンズやグレートバリアリーフの美しさ。そして現地で食べたオージービーフは日本に入って来ているものよりもずっと美味しかったです。ずっとですが金バラの値段の高さ

⑤13年所属です。いつも楽しく委員会の仕事ができしております。

⑥家族旅行が一番の楽しみです。



①片山 晃紀

②西区島崎

西区

③妻、長女(中2)、次女(小5)

④初めて、西区島崎から市議会議員が誕生したこと。

⑤楽しい

⑥魚釣り、ゴルフ



- ① **森野 茂**
- ② 西区池田
西区
9年
- ③ 妻、長女、長男
- ④ スタッフが指示しなくても、やっと言わんとすることを察して自主的に動いてくれるようになったことです……。
- ⑤ 委員の皆様の日頃よりお世話になって感謝しております。会の皆様のお役に立てるようになりたいと思っています。
- ⑥ 最近、自転車を購入しました。通勤や歯科医師会館までの移動に使用して、運動不足解消に貢献してくれています。



- ① **赤城 忠臣**
- ② 南区並建町
南区第2
4年
- ③ 妻、長女(15歳)、長男(13歳)
- ④ 感動したことは子供たちの成長。憤慨したことは年金問題。
- ⑤ 医療管理委員会の仕事は多岐にわたりますが、メンバーの先生方は皆さん優しくいつもお世話になっています。
- ⑥ 趣味はスポーツ観戦など



- ① **宮崎 康弘**
- ② 南区白藤
南区第1
7年
- ③ 妻、子
- ④ とくになし
- ⑤ 何もわかっておりませんが、少しでもお役に立てるよう頑張ります。
- ⑥ 無趣味を脱却して、ゴルフや運動などを生活に取り入れたいものです。

新人です！よろしくお願ひします

新 入 会 員 紹 介



氏 名 吉武 義泰(第3種会員・中央区第1支部)
診療所名 医療法人伊東会 伊東歯科口腔病院
(診療所) 〒860-0851
熊本市中央区子飼本町4-14
電 話／ 096-343-0377
FAX／ 096-341-1130

生年月日 昭和48年3月26日

趣 味 お仕事とお勉強でしょうか

好きな言葉 為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり。



氏 名 深水 篤(第3種会員・中央区第1支部)
診療所名 医療法人伊東会 伊東歯科口腔病院
(診療所) 〒860-0851
熊本市中央区子飼本町4-14
電 話／ 096-343-0377
FAX／ 096-341-1130

生年月日 昭和51年1月25日

趣 味 スノーボード

好きな言葉 絶え間なく、粘り強く努力する。



氏 名 橋口 真耶(中央区第4支部)
診療所名 まや歯科クリニック
(診療所) 〒860-0812
熊本市中央区南熊本3丁目1-3 1階
電 話／ 096-211-5123
FAX／ 096-211-5122

生年月日 昭和52年12月25日

趣 味 食べる事

好きな言葉



氏 名 分山 英信(第2種会員・中央区第2支部)
診療所名 分山矯正歯科クリニック
(診療所) 〒860-0806
熊本市中央区花畑町1-7 MY熊本ビル2F
電 話／096-354-0413
FAX／096-354-0438

生年月日 昭和63年2月9日

趣 味 読書

好きな言葉 ありがとう



氏 名 逢坂 洋輔(第2種会員・北区第2支部)
診療所名 くすのき子供歯科
(診療所) 〒861-8006
熊本市北区龍田8丁目9番85号
電 話／096-386-3111
FAX／096-386-3222

生年月日 昭和57年9月4日

趣 味 運動すること

好きな言葉 誠心誠意



氏 名 竹中誠一郎(第1種会員・中央区第3支部)
診療所名 竹中歯科クリニック
(診療所) 〒862-0971
熊本市中央区大江3丁目2-68
電 話／096-245-7102
FAX／096-245-7103

生年月日 昭和57年10月3日

趣 味 キャンプ、音楽鑑賞

好きな言葉 Just do it



氏 名 澤幡 佳孝(第1種会員・中央区第3支部)

診療所名 おひさま歯科クリニック

(診療所) 〒862-0924

熊本市中央区帯山4-3-18

電 話／096-213-8020

FAX／096-213-8024

生年月日 昭和52年7月9日

趣 味 マラソン

好きな言葉 継続は力なり



氏 名 狹間謙一郎(第1種会員・中央区第4支部)

診療所名 はさま歯科クリニック

(診療所) 〒860-0811

熊本市中央区本荘2丁目3-27

電 話／096-288-1818

FAX／096-288-0008

生年月日 昭和57年7月16日

趣 味 バスケットボール

好きな言葉 他人と自分に尊敬と愛情を持って接する



氏 名 上田 康弘(第1種会員・中央区第2支部)

診療所名 上田歯科医院

(診療所) 〒860-0017

熊本市中央区練兵町15

電 話／096-352-1652

FAX／096-352-1654

生年月日 昭和43年8月3日

趣 味 釣り

好きな言葉 継続は力なり



氏 名 高尾 真暢(第1種会員・南区第2支部)

診療所名 たかお歯科口腔機能クリニック

(診療所) 〒861-4206

熊本市南区城南町さんさん1丁目5-2

電 話 / 0964-25-3100

FAX / 0964-25-3102

生年月日 昭和54年6月21日

趣 味 ゴルフ

好きな言葉 剛気果断



ス ポ ー ツ の 広 場



あつまるデンタルゴルフ会

4月28日(日) 14名

			OUT	IN	GRO	HD	NET
優勝	田村 実雄		44	43	87	24	63
2位	明受 清一		45	50	95	30	65
3位	合澤 康生		47	41	88	20	68
4位	濱坂浩一郎		48	53	101	30	71
5位	北川 隆之		41	42	83	12	71
B.B.	奈良 健一		47	53	100	17	83

5月3日(祝) 10名

			OUT	IN	GRO	HD	NET
優勝	奈良 健一		47	44	91	17	74
2位	北川 隆之		45	41	86	11	75
3位	中島 健		44	56	100	21	79
4位	寺島 美史		56	61	117	37	80
5位	合澤 康生		48	49	97	16	81
B.B.	青木 道育		60	47	107	20	87

6月30日(日) 雨中止

会 務 報 告

理 事 会

月 日	協 議 題
4月25日	・会務、会計、庶務報告
5月30日	・会務、会計、庶務報告
6月19日	・会務、会計、庶務報告

厚 生 委 員 会

月 日	協 議 題
4月10日	・6月の合同委員会について ・90周年実行委員会について
5月22日	・ビアパーティーについて ・ビアパーティーについて ・合同委員会について ・代診、派遣制度について
6月25日	・ビアパーティーの席次について ・ビアパーティーの景品について ・ビアパーティーの食事内容について

医 療 管 理 委 員 会

月 日	協 議 題
4月19日	・保健所相談担当者との打ち合わせ ・スタッフレベルアップセミナーについて ・合同委員会について ・医歯連携セミナーについて ・後方支援病院と連絡協議会 ・来年度の講演会候補の選定について ・衛生士・技工士の啓発ポスターについて
5月22日	・各雇用関係助成金についての検討 ・スタッフレベルアップセミナーについて ・医歯連携セミナーについて ・後方支援病院と連絡協議会
6月1日	・保健所医療政策集との会議の報告 ・4月～5月の相談事例の検証 ・合同委員会について ・次期の相談担当者の確認
6月13日	・医歯連携セミナー、今後の予定 ・後方支援病院連絡協議会 内容検討

広 報 委 員 会

月 日	協 議 題
4 月 2 日	・ 中岳レイアウト
4 月16日	・ 中岳第1稿 校正
4 月23日	・ 中岳第2稿 校正
5 月28日	・ 総会出務決め・審議委員会出務決め
	・ 中岳、かわら版 反省
6 月25日	・ 中岳 目次決め
	・ 委員会撮影出務決め

地域学校歯科保健委員会

月 日	協 議 題
4 月 3 日	・ 2019歯の祭典全体会議(第1日)
	・ 2019歯の祭典チラシ仕分け
4 月26日	・ 2019歯の祭典チラシ仕分け
	・ 人工歯確認
	・ 景品チェック
5 月 8 日	・ 2019歯の祭典全体会議(第2日)
	・ 2019歯の祭典 担当決め
6 月17日	・ 2019歯の祭典集計
6 月21日	・ 2019歯の祭典反省会

社 保 委 員 会

月 日	協 議 題
4 月26日	・ 歯周病検診協議
	・ 新入会員オリエンテーション準備
	・ 5月個別指導対策
5 月31日	・ 6月個別指導対策
	・ 新入会員オリエンテーション準備
6 月26日	・ 新入会員オリエンテーション準備
	・ 医療費控除制度についての案内
	・ 審査案件について
7 月 6 日	・ 新入会員オリエンテーション

学 術 委 員 会

月 日	協 議 題
4 月 9 日	・ 合同委員会について ・ 学術講演会について ・ さわやか大学について ・ シティーFMについて
5 月14日	・ 学術講演会について ・ シティーFMについて ・ 合同委員会について ・ さわやか大学について ・ 三齒会講演会について
6 月29日	・ 学術講演会

編	集	後	記
---	---	---	---

今年の梅雨は遅く来たのは良かったのですが、来た途端に線状降水帯の嵐で豪雨が続きました。またしても、益城が大きな被害を受けました。本当に日本が亜熱帯化して来ているのかもしれませんがね。最近、災害が以前に比べて増えて来ているので、本当に恐ろしいことです！

(S.I)

熊本市歯科医師会会誌

第 186 号

発行日 令和元年 8 月 15 日発行

発行所 一般社団法人熊本市歯科医師会
熊本市中央区坪井 2 丁目 4 番 15 号

<http://kcd8020.com/>

[mail:kda8020@msg.biglobe.ne.jp](mailto:kda8020@msg.biglobe.ne.jp)

TEL (3 4 3) 6 6 6 9

FAX (3 4 4) 9 7 7 8

発行
責任者 宮 本 格 尚

印刷所 コロニー印刷
熊本市西区二本木 3 丁目 12-37
TEL 096-353-1291 FAX 096-353-1294